

議案第 4 3 号

令和 5 年度板橋区登録文化財の諮問について
上記の議案を提出する。

令和 5 年 7 月 1 3 日

提出者 板橋区教育委員会教育長 中川 修一

令和 5 年度板橋区登録文化財の諮問について
板橋区文化財保護条例第 4 条第 2 項及び第 1 3 条第 3 項並びに第 1
9 条に基づき東京都板橋区文化財保護審議会に諮問する。

記

1 諮問内容

板橋区文化財として新たに登録・指定することについて（2 件）

（1）有形文化財（歴史資料）

中台延命寺所蔵仏画

（2）無形文化財

鼈甲細工（岡 匡巳）

（提案理由）

上記諮問内容が、板橋区文化財保護条例第 4 条第 1 項に規定する登録文化財、あるいは、同条例第 1 3 条第 1 項に規定する指定文化財に該当すると思われるため、同条例第 4 条第 2 項及び第 1 3 条第 3 項並びに第 1 9 条に基づき東京都板橋区文化財保護審議会に諮問する。

令和5年度板橋区文化財保護審議会への諮問概要

1 新たな文化財の登録・指定

番号	名称	所在地または居住地	所有者・管理者または保持者	種類	内 訳	来 歴 ・ 内 容 及 び 諮 問 理 由
1	中台延命寺所蔵仏画（なかだいえんめいじしょうぶつが）	板橋区中台3-22-18	宗教法人延命寺（えんめいじ）	有形文化財（歴史資料）	2点	<p>本資料は、中台延命寺（えんめいじ）が所蔵する仏画《大般若十六善神画像（だいはんにやじゅうろくぜんしんがぞう）》、《釈迦涅槃画像（しゃかねはんがぞう）》の2点と各画像に付属する函で構成される。延命寺は17世紀に始まったと伝えられる真言宗豊山派の寺院で、総本山は長谷寺（はせでら・奈良県桜井市）、中本山（ちゅうほんざん）は練馬区にある練月山愛染院観音寺（れんげつさんあいぜんいんかんのんじ）である。近世には中台村の寺院として信仰を集めていたが、享保3年（1719）と文化2年（1805）の2度の火災により、堂宇や古文書類も焼失したと伝わっており、嘉永年間（1848～55）を中心に村人によって復興が図られた。</p> <p>《大般若十六善神画像》は絹本着色（けんぼんちゃくしよく）、縦268.0cm、横102.4cm、函書（はこがき）および本画の裏書（うらがき）に嘉永2年（1849）2月21日、当時の住職と中台村の住人18名が奉納したことが記されている。また、本画の裏書に「仏画師大比丘林岳和尚之執筆也」と記され、大比丘林岳（だいびくりんがく）の作とわかる。大比丘林岳は、憲海（けんかい）という会津出身の僧侶で、京都や会津で仏画の書写研究や制作、出版活動に貢献した仏画僧である。</p> <p>《釈迦涅槃画像》は、紙本着色（しほんちゃくしよく）、縦226.5cm、横161.0cm、本画の左下部に嘉永2年11月に「沙門大成憲里謹写」とあり、大成憲里（たいせいけんり）による作である。なお、函書には京都の仁和寺から愛染院あてに送られた記載がある。本画を制作した大成憲里は、越後の出身の僧侶で、憲海に師事した。憲海の右腕として彼の仏画研究・出版事業を支え、彼の死後も京都・仁和寺の仏画出版事業に深く関わった仏画僧である。</p> <p>これらの仏画に関わった憲海・憲里による仏画の下絵や版木などの関連資料が残され、仏画研究・出版活動や彼らの活動拠点であった工房に関する研究が進められている。本資料は近世仏教美術史における仏画僧の活動と延命寺との繋がり、近世後期中台村における延命寺への信仰の地域的な広がりを読み解くことができる重要な資料である。</p>
2	鼈甲細工（べっこうさいく）	板橋区弥生町15-1	岡匡巳（おかまさみ）	無形文化財		<p>東京で製作されている鼈甲細工は「江戸鼈甲」とも呼ばれ、長崎・大阪とともに三大産地となっており、東京都の伝統工芸品にも指定されている。現在、鼈甲細工は、東京においては眼鏡フレームを中心に、長崎においては櫛や簪といった小物を中心に製作されている。技術保持者の岡匡巳（おか・まさみ）氏は、昭和44年（1969）生まれの54歳。祖父の梅五郎氏、父の信彦氏と3世代に渡る鼈甲細工の職人として活動している。昭和38年に祖父梅五郎が千駄木から区内弥生町に移転、店を構えている。匡巳氏本人は父の信彦氏に師事し、技術を習得し、約42年間、鼈甲細工のメガネフレームを中心に作品づくりに取り組んでいる。現在は東日本べっ甲事業協同組合、板橋区伝統工芸保存会に所属する。なお、匡巳氏は、眼鏡全体を鼈甲で製作する「総鼈甲」の高い技術を身に付けており、令和5年3月には、鼈甲制作の功労が認められ、東京都伝統工芸品産業功労者として、東京都知事より感謝状を受表彰されるなど、業界内での評価も高い。「鼈甲細工」を無形文化財として登録し、保持者の技術の保存を図っていきたい。</p>

板橋区文化財保護審議会

東京都板橋区文化財保護条例(昭和 58 年 3 月 18 日東京都板橋区条例第 16 号)
に基づき、令和 5 年度板橋区文化財の登録等について下記のとおり諮問する。

令和 5 年 8 月 2 日

東京都板橋区教育委員会

記

- | | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 新たに文化財登録・指定するもの | 2 件 |
| | (1) 有形文化財(歴史資料) | |
| | 中台延命寺所蔵仏画 | |
| | (2) 無形文化財 | |
| | 鼈甲細工(岡 匡巳) | |